

川公務員ゼミナール

公務員学科・公務員特別学科(上級・大卒公務員受験クラス)

授業計画書

Syllabus

この授業計画書は、本校ホームページにも掲載します。<http://www.kumamoto-koumuin.info/>

学群	基礎科目群 学群B				
授業科目	数的推理C				
担当者	篠原憲司郎				
授業の方法	講義	授業時数	50	単位数	2
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>上級・大卒程度の公務員試験対策として、数的推理(数的処理)と資料解釈の授業を行います。上級・大卒程度の問題のほか、主に基礎力を養う意味で、初級・高卒程度の問題も併用します。演習では応用力が必要になってくるので、基礎・基本を身につけた上で適した解法の選択ができるようにしていきます。</p> <p>【数的推理】45時間(基礎33時間、演習12時間)</p> <p>○基礎 33時間 魔方陣、約数と倍数、割る数と余り 計4時間 方程式、整数問題、平均算、仕事算、集合 計9時間 割合、濃度、利益 計5時間 速さ 7時間 場合の数、確率 計6時間 記数法、時計算 計2時間</p> <p>○演習12時間</p> <p>【資料解釈】5時間 指数、増加率、割合 計3時間 実数 2時間</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					

学群	基礎科目群 学群B				
授業科目	判断推理C				
担当者	霍口信明				
授業の方法	講義	授業時数	50	単位数	2
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>上級公務員試験に出題される教養科目、課題処理(判断推理)の基礎部分を30時間、強化項目を5時間、総合演習を10時間、まとめを5時間として学習します。特に「命題論理・論証」「対応関係」「比較」「順位順序」を重点項目として学習します。 また、図形については基本的な問題を中心として組み立てます。</p> <p>基礎部分を30時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 命題論理・論証(2時間) 2. 暗号(2時間) 3. 規則性(2時間) 4. 試合と勝敗(2時間) 5. うそと本当(2時間) 6. 対応関係(3時間) 7. 順位順序(3時間) 8. 家族関係(2時間) 9. 比較(2時間) 10. 曜日(2時間) 11. 位置関係(2時間) 12. 方位(2時間) 13. 道順(1時間) 14. 図形の分割と構成(2時間) 15. 展開図(2時間) 16. 投影図・見取り図(2時間) 17. 回転体(2時間) <p>強化項目を5時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 命題論理・論証(1時間) 2. 対応関係(2時間) 3. 順位順序(1時間) 4. 比較(1時間) <p>総合演習を10時間 総合問題として判断推理5題＋図形2題を30分で解答する。その後解説20分。</p> <p>まとめ5時間 頻度の高い出題項目の重要点を再度復習する。</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					

学群	基礎科目群 学群B				
授業科目	社会科学C				
担当者	小宮 康				
授業の方法	講義	授業時数	30	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>上級・大卒程度の公務員試験合格を目指し、「政治学」「行政学」「国際関係」「憲法」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「財政学」の基本を網羅的に学習し、専門科目の学習を理解するための基礎を固めます。また、政治・経済・厚生・環境等の「時事問題」についても学びます。</p> <p>【授業計画】 政治学の基礎(2時間) 行政学の基礎(2時間) 国際関係の基礎(1時間) 日本国憲法の基礎・人権(4時間) 日本国憲法の基礎・統治機構(4時間) 思想(5時間) 時事(5時間)・・・日本政治、国際政治、日本経済、世界経済、厚生、労働、環境、文部科学 過去問演習(7時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	基礎科目群 学群B				
授業科目	人文科学C				
担当者	福島 頌之				
授業の方法	講義	授業時数	70	単位数	3
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>「世界史」「日本史」「地理」の頻出分野を中心に、詳細部分まで理解をさせる授業を行い、上級・大卒程度の公務員試験合格を目標とします。情報量は膨大なため、効率的な勉強法が必要です。レジュメを用意し、重要な部分をメモをするというような効率的に暗記できるようアドバイスしていきます。</p> <p>【授業内容】 世界史: 25時間 ①古代史: 古代文明(1時間)、古代ギリシャ(1時間)、古代ローマ(1時間)、古代インド史(1時間) ②中国史: 殷～唐(2時間)、宋～清(2時間) ③中世史: イスラーム史(2時間)、中世ヨーロッパ(2時間) ④欧米史: ルネサンス～宗教改革(1時間)、主権国家体制(1時間)、市民革命～産業革命(3時間)、19世紀欧米史(3時間) ⑤近現代史: 第一次世界大戦(1時間)、世界恐慌～第二次世界大戦(1時間)、第二次世界大戦後(3時間)</p> <p>日本史: 23時間 ①古代史: 旧石器～飛鳥(1時間)、奈良～平安(1時間) ②中世史: 鎌倉(1時間)、南北朝～安土桃山(2時間)、江戸初期(1時間) ③近世史: 江戸の改革(3時間)、幕末(1時間) ④近代史: 明治維新(2時間)、日清・日露(1時間)、護憲運動・第一次世界大戦(2時間)、戦後恐慌～第二次世界大戦(1時間) ④現代史: 占領下の政治(1時間)、高度経済成長以降(2時間)</p> <p>地理: 22時間 ①地形: 地球(1時間)、河川地形・海岸地形(2時間) ②気候: 大気の大循環(1時間)、気候区分(2時間) ③産業: 農業(1時間)、資源(2時間)、林業・水産業(1時間) ④都市・人口: 都市(1時間)、人口(1時間) ⑤地誌: アジア(1時間)、北アメリカ・南アメリカ(2時間)、オセアニア・アフリカ(1時間)、ヨーロッパ(2時間)、日本(2時間) ⑥環境: 環境問題(1時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	基礎科目群 学群B				
授業科目	文章理解C				
担当者	村山歌奈子、霍口美枝				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>文章理解Cでは、上級・大卒程度公務員試験において必ず出題される現代文、英文を学びます。</p> <p>【現代文/10時間】 現代文を確実な得点源にするための演習・解説を実施します。また、随時、現代文読解のためのテクニックも提示します。</p> <p>第1～3回(3時間):現代文の出題ジャンル別解法について 第4～10回(7時間):過去問を使用した演習(実践編)。</p> <p>【英文/10時間】 長文読解に対応する力をつけるため、毎時間テーマ毎に単語・熟語・構文を解説し、週テストで定着度をチェックします。また、イデオムプリントを作成し、学生が自主的に英語の勉強ができるようにしています。</p> <p>※古典・語彙・文芸分野については、受験に必要な学生がいる場合、別途プリント教材を作成し、基礎・重要事項の解説および過去問演習を実施します。</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	基礎科目群 学群B				
授業科目	論文				
担当者	村山歌奈子				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>公務員試験において必須の論文試験対策を行います。 各学生の受験先の出題傾向(形式・時間・テーマ)を提示し、短期間でも論文試験の準備ができるような情報提供に努めます。</p> <p>また、論文を書く上で必要な社会問題や公務員に関する知識について、参加型講義を通してインプットします。その後、全5回の論文試験(添削込)を行い、実戦力を養います。添削後の書き直しも随時個別対応します。</p> <p>【講義の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス(1時間) ・講義テーマ…「地方自治の基礎」(2時間)／「人口減少社会」(3時間)／「防災・減災」(2時間)／「まちづくり」(2時間) ・論文試験(全5回／計10時間) <p>【論文課題例】「志望先自治体の現状をふまえたまちづくり」</p> <p>【アドバイス】社会の動きをキャッチするだけでなく、自身の受験先の現状に関する個別の情報収集が必須です。講義中、他学生との意見交流も積極的に行いましょう。</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、論文により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	政治学				
担当者	福島頌之				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>政治学の授業では、国内外の政治制度、政治理念などを上級・大卒程度の公務員試験での得点を目指します。暗記内容が膨大で、法律系科目や経済系科目に比べ学者名が多く敬遠しがちだが、学者の著書やキーワードを覚えることで初学者でも十分に対応できます。効率よく勉強するために、テーマ別のレジュメを作成し、頻出分野に重点を置いて授業を進めていきます。出題頻度が高い政党や圧力団体は類似している部分があり、暗記しづらいですが、日頃の新聞やニュースで取り上げられている政治の動きを例に挙げ丁寧に解説していきます。</p> <p>【授業内容】</p> <p>①政治学の基礎: 政治権力・リーダーシップ(1時間)、国家観の変遷(1時間)</p> <p>②政治制度: 権力分立・議会制度(1時間)、選挙制度・各国の政治制度(2時間)</p> <p>③政治動態: 政党・各国の政党・政党システム(2時間)、圧力団体・マスコミ・世論(1時間)</p> <p>④政治意識: 政治意識・イデオロギー(2時間)、政治的無関心・投票行動(1時間)</p> <p>⑤政治思想: 市民革命前(1時間)、市民革命後(1時間)、日本の政治思想(1時間)</p> <p>⑥政治理論: 現代政治学(1時間)、政治過程論(1時間)、比較政治論(1時間)、デモクラシー理論・国家論(1時間)</p> <p>⑦政治史: 戦前(1時間)、戦後(1時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	行政学				
担当者	福島頌之				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>行政学は、上級・大卒程度の専門試験で出題されます。</p> <p>行政学という学問は、公務員として働くものにとって一番身近に感じられる科目です。公務員として働き始めた場合、政策に必ず携わります。執行するにあたって、国民や住民への対応や課題を学んでいきます。これらを学ぶことにより、将来の自分の仕事を理解することができ、即戦力となる人材になることを期待します。また、政治学・社会学・経営学など、ほかの学問との共通のテーマが存在するため、リンクしながら勉強するとより理解が深まります。</p> <p>【授業内容】</p> <p>①行政組織: 官僚制(1時間)、行政組織の構成原理(1時間)、日本の行政組織(2時間)</p> <p>②行政学理論: 行政学の歴史(2時間)、組織理論(1時間)</p> <p>③行政管理: 公務員制度(2時間)、予算(2時間)、評価と能率・調整と計画と統計調査(1時間)、行政改革(1時間)</p> <p>④行政活動・行政統制: 政策過程(1時間)、行政活動(1時間)、行政責任論・行政統制(1時間)</p> <p>⑤地方行政: 地方自治(2時間)、日本の地方自治(1時間)、各国の地方自治(1時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	憲法				
担当者	佐藤 直也				
授業の方法	講義	授業時数	60	単位数	3
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>(目標) 人権, 統治, 国民主権, 平和主義等の憲法の各単元についてまんべんなく学習し, 公務員として働くために必要な知識を身に付けます。</p> <p>(アドバイス) 試験科目としての憲法は, 他の法律科目と比較して抽象的な内容が多く, イメージを掴みづらい難解な科目であるという印象を持つかもしれません。実際の裁判等においても憲法論が主張されることはまれであるといえます。しかし, 他方で, 憲法はあらゆる法規範の上位に位置づけられるものであり, 行政法, 民法, 刑法, 労働法等の他の法律科目を勉強する際にも随所に出てくるルールです。そのため, 憲法をしっかりと理解することは, 他の法律科目の学習にも役立つことに繋がります。学生の皆様には, 本講義で, 憲法の難しさの先にある面白さを実感していただきたいと思ます。</p> <p>(授業計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総論、国民主権、平和主義 2時間 ・ 基本的人権 14時間 ・ 統治機構 14時間 ・ 過去問演習 30時間 <p>※ 各単元に割り当てられた時間はあくまで目安であり, 実際の授業の進行状況等により変動することがあります。</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	民法				
担当者	佐藤 直也				
授業の方法	講義	授業時数	100	単位数	5
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>(目標)</p> <p>地方上級と希望者には国家一種試験合格を目指した授業を行う予定である。 民法は「生きた学問」といわれ、日常生活における私人と私人間のトラブルを解決するための学問である。よって、民法を学ぶ事により。公務員試験合格後にも役に立つように事例や判例を中心に、難解な専門用語を噛み砕いて、初学者でも理解できるようにわかりやすい授業を心がけたいと考えている。</p> <p>(アドバイス)</p> <p>民法が難しいと言われる生徒は多い。苦手の理由は、多数の登場人物と時系列の場面の切り替えが激しい事があげられる。よって、自分の頭で単純に考えるだけでなく、時系列を必ずメモ化して、視覚で検討していく癖をつけることである。最初は取つきにくい、時系列が読めるようになると民法は飛躍的に成績が向上する。根気強く学習してほしい。</p> <p>(授業詳細)</p> <p>民法総則の基礎 14時間 物権 18時間 担保物権 14時間 債権総論 18時間 債権各論 14時間 親族 相続 10時間 過去問演習 12時間</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	行政法				
担当者	家入進				
授業の方法	講義	授業時数	50	単位数	2
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>目標 公務員は、行政法を理解していなければ、公務を執行することはできない。そこで、適法に、公務を執行できるように、行政法を理解させる。</p> <p>アドバイス 本講座を受ける方々は、将来公務員として働きます。そして、公務員は、法律に従って、公務をしなければなりません。そして、公務員が、最も使う法律が、行政手続法、行政不服審査法等の行政法です。よって、行政法の知識は、公務員にとって、不可欠です。将来、困らないように、しっかりと勉強しましょう。</p> <p>授業計画</p> <p>1総論(2時間) 2行政立法(2時間) 3義務を履行しなかった場合の制裁(4時間) 4行政指導(4時間) 5行政手続法(2時間) 6行政不服審査法(8時間) 7取消しの訴え(8時間) 8その他の抗告訴訟(6時間) 9国家賠償法(8時間) 10損失補償(8時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	地方自治法				
担当者	家入進				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>目標 公務員が、違法行為を行えば、国民の自由と権利が侵害されるだけでなく、公務員自身も懲戒される。何が許されない違法行為となるのかを、理解させる。</p> <p>アドバイス 本講座を受ける方々は、将来公務員として働きます。そして、公務員は、法律に従って、公務をしなければなりません。そして、公務員が遵守すべき基本事項を規定している法律が、地方自治法です。よって、地方自治法の知識は、公務員にとって、不可欠です。将来、困らないように、しっかりと勉強しましょう。</p> <p>授業計画</p> <p>1 総 則(4時間)地方自治の意義・地方自治の種類・条例の効力・規則 2 議 会(4時間)議会の組織・議会の権限・調査権・委員会制度・会議の運営・議会の解散 3 執行機関(4時間)長の権限・補助執行・会計管理者及び会計職員等・附属機関・監査委員・教育委員会・専決処分 4 財 務(2時間)予算の意義・予算の種類・決算・債権の管理・基金・公の施設の意義 5 国と地方公共団体等の関係(4時間)国と地方公共団体との関係・指定都市、中核市及び特例市 6 特別地方公共団体等(2時間)特別区制度・広域連合</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	刑法				
担当者	佐藤 直也				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>(目標) 国家一般職や地方上級の試験の合格を目指して、刑法の基礎から実践的な知識までの講義を行う予定です。刑法は、実社会とは接点が薄い学問ですが、殺人や強盗などスリリングな事例を取り扱うため、ある意味面白い科目であるといえます。刑法は体系を重視した総論と暗記中心の各論がありますが、両方をリンクさせて理解できるような授業を行いたいと考えています。</p> <p>(アドバイス) 刑法は学説の争いが激しい論点が多く、判例や学説などの見解が多岐にわたります。そこで、学習をするうえでは、それぞれの見解の論理展開を自分の頭で消化しなければならず、数学の方程式を解くのに近い感覚があります。そのため、文系出身の生徒の中には刑法が不得意な人も多いですが、繰り返し継続して学習することで必ず理解できる科目なので、辛抱強く学習を進めてほしいと思います。</p> <p>(授業詳細) ・ 刑法総論 7時間 ・ 刑法各論 7時間 ・ 問題演習 6時間(総論3時間、各論3時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	労働法				
担当者	家入進				
授業の方法	講義	授業時数	20	単位数	1
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>【目標】 公務員試験合格を目標に過去問分析を中心としたインプットとアウトプットの学習を行う予定である。労働法は公務員合格後の実務においては、市民の方たちに労働法の権利等のアドバイス(指導)していく立場となり、とても重要な学問である。労働者の地位と経済的立場の向上という労働法の趣旨をこの学習の機会にしっかりと理解をすることに重きを置いて、授業に取り組む予定である。</p> <p>【アドバイス】 労働法は法律科目の中で一番理解や学習到達度の早い学問である。論点の数も少なく、学説の争いもあまり見られない。よって、判例の基本的なキーワードと結論の暗記に重点をおいて学習すれば、合格レベルには到達可能である。</p> <p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個別的労働関係法(8時間) 労働契約、解雇、賃金、労働時間、休日/休憩、年次有給休暇、女性、年少者、就業規則、懲戒 ● 集団的労使関係法(10時間) 労働組合、団体交渉、争議行為、組合活動、労働協約、不当労働行為、労働紛争の処理 ● 労使紛争処理法(2時間) 解雇・雇止め、賃金・退職金、就業規則の不利益変更、配転・出向、労働時間、懲戒処分、男女雇用平等、労働災害、労働協約、不当労働行為 					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者に対し、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群D				
授業科目	経済学				
担当者	小宮康				
授業の方法	講義	授業時数	120	単位数	6
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>上級・大卒程度公務員試験の合格を目指し、ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学の頻出論点を学びます。計算問題が多く、数学が苦手な者が敬遠しがちな科目ですが、みなさんが初学者であることを前提に、丁寧に授業を行います。ミクロ経済学やマクロ経済学は、経済的な事象を単純化したモデルを用いて説明するため、リアリティのない別世界の出来事を勉強している錯覚に陥りがちですが、本授業では経済理論を身近で具体的な事例に引きつけながら説明するので、初学者でも理解することができます。最終的には本試験において経済学を得点源とすることができるはずですが、また、本授業を通して、現実で起こっている経済分野の事象にある背景を読み取ることができ、経済界の動向や金融・財政政策への理解をいっそう深め、論理的に考察する能力が醸成されることを期待します。</p> <p>【授業計画】 ミクロ経済学・消費者理論(15時間)……無差別曲線の財の性質(6時間)、効用最大化(6時間)、需要の価格弾力性(3時間) ミクロ経済学・生産者理論(15時間)……総費用曲線(2時間)、利潤最大化(12時間)、ゲーム理論(1時間) ミクロ経済学・市場の理論(15時間)……市場の安定(1時間)、余剰分析(8時間)、エッジワースボックス(2時間)、市場の失敗(4時間) ミクロ経済学・国民経済計算(3時間) マクロ経済学・消費理論、投資理論、貨幣理論(7時間) マクロ経済学・45度分析(8時間) マクロ経済学・IS-LM分析(7時間) マクロ経済学・マンデルフレミングモデル(3時間) マクロ経済学・総需要総供給分析、フィリップス曲線(4時間) マクロ経済学・経済成長理論(5時間) 財政学(8時間)……予算制度、国債、財政投融资、地方財政計画(各1時間)、日本の一般会計、税制(各2時間) 過去問演習(30時間)……ミクロ経済学(14時間)、マクロ経済学(14時間)、財政学(2時間)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					

学群	実技・演習群 学群F				
授業科目	職種研究C				
担当者	クラス担任、土屋望生、藤藪貴治、田尻雅美、設楽聡、村山歌奈子、小野泰輔				
授業の方法	講義・実習	授業時数	70	単位数	2
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>上級・大卒程度の公務員受験者を対象とし、次のテーマについて、現場で活躍されている講師による授業・フィールドワークを実施します。</p> <p>①「住民による地域おこしの実態と課題」4時間 土屋望生……過疎高齢化が進行する五木村の事例を学ぶ。フィールドワークあり。</p> <p>②「社会福祉入門」4時間 藤藪貴治……「若者の貧困」をテーマに、国の政策と現状を学び、公務員としての取組み方を考える。</p> <p>③「水俣病」2時間 田尻雅美……水俣病の教訓を振り返り、水俣病患者の視点から補償・救済制度を検証する。</p> <p>④「コミュニティとまちづくり」2時間 設楽聡……水俣市の事例をもとに、コミュニティとまちづくりの関係性について学ぶ。フィールドワークあり。</p> <p>⑤「防災」6時間 村山歌奈子……熊本地震の教訓から、「自助・共助・公助」の在り方を考察する。</p> <p>⑥「地方創生」2時間 小野泰輔……公務員としての地域との関わりについて、また、地方創生の捉え方について学ぶ。</p> <p>さらに上記とは別に、職種研究A、Bよりもさらに発展的させた事柄を学びます。「公務員研究」では、憲法や地方自治法等の行政関連各法の立法主旨を踏ま「公務員の役割・本質」を考察するとともに、行政上の諸課題(少子化対策、高齢化対策、人口減少社会、防災、環境問題、社会保障、観光政策、障害者支援、外国人支援)について、各種統計・資料の分析や国や各自治体の事例を分析を通して、国や自治体において必要とされる政策・事業・プロジェクトを考えます。</p> <p>⑥「公務員研究」54時間 クラス担任……希望とする職種等について、「行政上の諸課題」の視点から職務内容等を詳細に調べ、レポートにまとめ発表、討論する。(自治体等の事例に関する講義とレポート作成:合計36時間、発表:合計8時間、討論:合計10時間)</p>					
成績評価の方法					
出席状況(50%)と発表内容・提出物(50%)により評価する。					
備考					
<p>藤藪貴治の授業では、市職員として福祉事務所、児童相談所に勤めていた経験を元に、貧困問題や生活保護問題について講義する。現在は佐賀県弁護士会所属。設楽聡の授業では、現水俣市職員として10年以上行政に携わっている経験を踏まえ、「まちづくり」に関する最新の課題と取り組みを伝える。小野泰輔の講演では、前熊本県副知事としての活動、熊本県職員有志による「五木村研究会」での活動を中心に、振興のあり方を伝える。</p>					

学群	実技・演習群 学群F				
授業科目	実践演習C				
担当者	クラス担任				
授業の方法	演習	授業時数	50	単位数	2
学期	通期				
対象	公務員学科(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(上級・大卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>上級・大卒程度公務員受験者向けの総合的な1次試験対策です。国家公務員型、県庁・政令指定都市型など、公務員試験の類型に応じた実践演習問題を行います。</p>					
成績評価の方法					
<p>出席要件を満たした者について、演習問題の得点により評価する。</p>					